

佐賀大学楠葉同窓会



なんよう

No.93
2010.11.1

卒業生を迎えて キャリアデザイン講座を開催



平成17年度から大学と同窓会の共催で、全学部の2～3年生を対象に実施しているキャリアデザイン(自分発見)講座が今年も10月から始まりました。経済学部からは平成20年卒の原佳祐さん(西日本シティ銀行株式会社・経営法律)と、古川里紗さん(大和証券株式会社・経済システム)のお二人に担当していただきました。お二人とも約300人の学生に対し、主に就職活動の心構えを経験談をもとに分かりやすくアドバイスしていただきました。この講座は学生たちの関心も高く、今後の参考にしようと熱心に先輩の話に聞き入っていました。

今年も盛大に 懇親会開催



総会会場



受付の実行委員



懇親会場



佛淵学長のご挨拶



梅崎会長挨拶

楠葉同窓会の平成22年度総会・懇親会は、5月22日に佐賀市の「ホテルマリターレ創世」で開催しました。総会後の懇親会には97名の同窓生と、来賓として大学、佐賀大学同窓会、各学部同窓会の代表に出席いただき盛大に開催されました。

懇親会は楠葉同窓会梅崎会長を始め、佛淵学長、懇親会実行委員会大野実行委員長の挨拶、佐賀大学同窓会の宮島会長の乾杯でスタートしました。会は実行委員の皆さんの進行で楽しく進み、恒例の抽選会や校歌斉唱でクライマックスを迎えました。参加者一同、青春の思い出や近況報告に話が弾み、時の経つのを忘れ楽しいひとときを過ごすことができましたようです。

今回の懇親会は57年入学の実行委員の方により準備を進めていただきました。大野実行委員長を始め実行委員の皆さんの御苦労も多かったと思いますが、若い年代の方も多数参加し、盛大に開催できたことに書面を借りてお礼申し上げます。

文責 坂本 裕三 (62入・管理)



本部役員と実行委員との学生歌斉唱



飯塚先生を偲んで

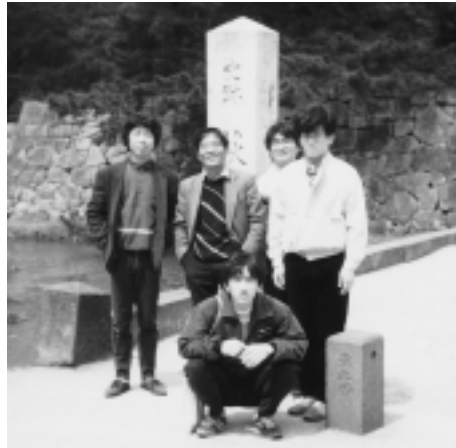


飯塚先生が亡くなられたとの突然の訃報を聞いて驚きました。

私と先生の関係は、25年ほど前に遡ります。当時5、6人の仲間と一緒に先生のゼミに入って、2年間ご指導を受けました。

正直、年数が経ち過ぎて、当時の先生との会話などを思い出すのが困難な状況ですが、先生の顔や関西弁は記憶に残っています。

当時のことを思い出そうと、いろいろ探していたら、萩へのゼミ旅行の写真が見つかりまし



た。先生はゼミ生の真ん中で笑っておられました。

卒業をしてから、先生とは疎遠になりずっとお会いしていませんでした。先生が元気なうちに、当時のゼミ生で先生を囲んで飲めばよかったと悔やまれてなりません。

心よりご冥福をお祈りいたします。

坂井 孝司 (57入・経済)

(飯塚正朝名誉教授は平成22年9月1日にご逝去されました。66歳。)

歌は流れる その58

閑話休題 佐高対福高戦と同時に行われた五高・七高戦は、肥薩両県民を興奮の坩堝と化していた。熊本に乗り込んだ七高の生徒達は特産の薩摩芋をさげていた。五高生へ友好の印の贈り物。五高が南下の際は名産の河内みかんを持ち込んだ。両校の対抗戦は佐高福高戦より早く、大正8年に始まり7回戦って五高が1勝6敗と大きく負け越していた。このため挽回をと、大阪の強豪市岡中学で甲子園に出場の遊撃手広岡知男(東大法学部卒、元朝日新聞社長)を獲得。強化していた。

大正15年7月12日。大太鼓の音が響き旋風一陣砂塵を捲き上げ、屈辱の球史に終止符を打とうと意気込んだ。

「武夫原頭に草萌えて 花の香甘く夢に入り 龍田の山に秋逝いて 雁が音遠き月影に高く聳ゆる三寮の 歴史や移る十四年」(4節構成第1節)。106年前の明治37年、東大五高会で寮歌を作る話が出、漢詩文に堪能な恵利武が作詞。東京音楽学校の生徒が曲をつけて習学寮祭に間に合うよう贈った。

試合ではその歌声が龍田山に木霊し、めくるめく強い光を浴びている。汗みずく、熱気

が包むなか2回に4番広岡が3塁打を放って2点を先取。雀躍りするが、投手が乱れ3対2のスコアで敗れる。内野の真ん中に卓子が出されその上で両校の応援団長が挨拶。相手校の寮歌を歌い上げて和気藹藹だ。

この後、波動が起き灰神楽の立つような騒ぎに発展する。それは一塁側の陣形がやにわに崩れ、五高応援団の数人が応援に使っていた木剣をかざして雪崩れ込み、十数人が続いた。騒ぎの発端は尾籠な話だが、歌い出しのところを「武夫原頭に糞たれて」と侮蔑的な替えを歌ったのは許せない。友好ムードは吹き飛んで罵り合う。結局激昂する両応援団を、両校の総務らが体を張って仲に入り、なだめて一応解決したかに見えた。七高勢は武夫原を去り、肅肅と宿舍の県会議事堂へ引き揚げて行った。

だが五高側はこの処置に納得できず、「円満解決というのなら全応援団員の前で謝罪せよ」と主張。七高側は「すでに決着済み」とにべもない。それではと隊列を組み、歩武堂県会議事堂へ。警察官が出、熊本連隊に出動を要請して、鶏林の風雲は急を告げる。

大谷 希幸 (30卒・法)

近況報告

諫早支部総会報告

9月25日に諫早支部の総会が開催され、宮島会長と田中副会長と私の3名が出席しました。支部会員17名と島原支部より2名馳せ参じて総勢22名の盛会となりました。

特記すべきは島原支部より大平支部長、福田副支部長が参加している事に付けて加えて今後は大村支部へも働きかけて、集まりを更に増大される方針を描いていられる事でありました。支部活動は今出来るサイズでコツコツと実現しながら、近未来に同窓会5学部合併の成果を上げて行く事でありましょう。

良き方針を窺い知る事の出来た総会でした。閑話休題 各支部の総会が11月の而も中旬



に集中しています。その上、佐賀県青春寮歌祭が11月の第3土曜日を恒例としています。熟知させ切れなかった嫌いも有りますのでお詫びしますが、今年は11月13日の2支部の総会と20日の1支部と寮歌祭がダブってしまいました。来年度からは開催日検討の折には是非本部同窓会へご一報下さい。

文責 会長 梅崎 正道 (33入・経)

事務局日誌 (印は楠葉同窓会)

- H22 .4 .1 会報「なんよう 92」発行
- 6 佐賀大学平成22年度入学式
経済学部277名入学
- 6 楠葉同窓会会計監査
- 7・佐大同窓会「第1回代表役員会」
- 14・佐大同窓会「春期定例役員会」
- 16 楠葉同窓会「実行委員会」
- 27・佐大同窓会「会長・副会長会議」
- 28・「佐賀大学と佐大同窓会との意見交換会」/ホテルニューオータニ
- 30 楠葉同窓会「役員会」
- 5 .11・佐大同窓会会報「楠の葉」編集会議
- 14 楠葉同窓会「役員会」
- 17 楠葉同窓会総会会場打合せ
- 22 楠葉同窓会総会・懇親会/ホテルマリタール創世
- 26 楠葉同窓会「実行委員会反省会」
- 28・第31回「クリエイティブ21」
/佐賀大学理事 米倉茂氏
- 6 .9・佐大同窓会「第2回代表役員会」
- 16 楠葉同窓会「役員会」
- 28 佐賀大学校友会 代議員会
- 7 .2 楠葉同窓会「情報会議」
- 5 佐賀大学校友会 役員会
- 7 楠葉同窓会「ワーキンググループ会議」
- 16 楠葉同窓会「情報会議」
- 21・佐大同窓会「第3回代表役員会
歓送迎会」/グランデはがくれ
- 28 楠葉同窓会「役員会」
- 8 .18 楠葉同窓会「ワーキンググループ会議」
- 25 楠葉同窓会「情報会議」
- 9 .10 楠葉同窓会会報「なんよう 93」
編集会議
- 15・佐大同窓会「第4回代表役員会」
- 15 楠葉同窓会「情報会議」
- 22 楠葉同窓会「役員会」
- 25・諫早支部総会・懇親会/ステーションホテル
- 10 .6 単位提供講座キャリアデザイン
ガイダンス
- 6・佐大同窓会「代表役員会」
- 8 楠葉同窓会「名簿会議」
- 13・単位提供講座キャリアデザイン
/講師原佳祐氏(経済学部卒)
- 13・佐大同窓会「秋期定例役員会」
- 20・単位提供講座キャリアデザイン
/講師古川里沙氏(経済学部卒)
- 22 楠葉同窓会「ワーキンググループ会議」
- 29・第32回「クリエイティブ21」/佐賀
大学工学系研究科長 林田行雄氏

発行 佐賀大学楠葉同窓会
佐賀市本庄町 佐賀大学菱の実会館内
TEL 0952 - 23 - 1253
FAX 0952 - 25 - 5700
E-Mail: dosokai@ai.is.saga-u.ac.jp

発行者 梅崎 正道 (33入・経)
編集 宮原 義幸 (38入・法)
代表者
郵便振替 [01760 - 9 - 25635]